



幅広い効果とシャープな切れ味

広い殺菌スペクトラムを有するTPNとべと病・疫病にシャープな効果のランマンの混合剤。

園芸用
殺菌剤

バーミヤス[®]

フロアブル

®は登録商標です。

シアゾファミド・TPN水和剤



トマト:疫病



トマト:葉かび病



はくさい:べと病



はくさい:白さび病



きゅうり:べと病



きゅうり:褐斑病



すいか:褐色腐敗病



ねぎ:べと病



ぶどう:べと病



石原バイオサイエンス株式会社

★4つの特長★

1 ベストな組合せの高性能殺菌剤

べと病・疫病に優れた効果のシアゾファミド(ランマン)と、幅広い病害に安定した効果を発揮するTPNの混合剤です。べと病や疫病に加え他病害が混発、同時発生する場面での基幹防除・ローテーション防除の主力剤として適しています。

3 優れた基本活性、残効性、耐雨性

「ドーシャスプロアブル」は、高い予防効果(基本活性)をもっています。また、有効成分のシアゾファミドとTPNは、共に残効性、耐雨性に優れているため、圃場での安定した効果が期待できます。

2 ユニークな作用機作

シアゾファミドは、新規な化合物グループに属し、他剤と全く異なる作用機作をもっているため、既存剤の耐性菌にも有効です。長年の使用でも耐性菌の発生していないTPNとの混合剤「ドーシャスプロアブル」は、耐性菌管理に有効な薬剤です。

4 次世代菌密度低減効果(サニテーション効果)

シアゾファミドは、優れた胞子(遊走子)のう形成阻害作用をもっているため、圃場全体の菌密度を効率的に低下させ(サニテーション効果)、予防効果を超えた防除効果を発揮します。この効果は各種病害の発生状態が変化に富む実使用面で、安定した防除効果につながります。

★適用病害と使用方法★

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	シアゾファミドを含む 農薬の総使用回数	TPNを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんご病 褐斑病 炭疽病 黒星病	1,000	150~300	収穫前日 まで	4回以内	散布	10回以内 (土壤灌注は2回以内、 散布及びくん煙及び エアゾル剤の噴射は 合計8回以内)	5回以内
	べと病 つる枯病 うどんご病			収穫3日前 まで				
	褐色腐敗病 炭疽病 つる枯病			収穫前日 まで				
	疫病 葉かび病 輪紋病			3回以内				
	なす			収穫7日前 まで				
	トマト			4回以内				
	ピーマン			4回以内				
	たまねぎ			3回以内				
	ねぎ			3回以内				
	はくさい			2回以内				
	レタス			3回以内				
ぶどう	べと病 晚腐病 黒とう病	2,000	200~700	収穫60日前 まで	3回以内		3回以内 (土壤灌注は2回以内、 散布は3回以内)	5回以内 (土壤灌注は2回以内、 散布は3回以内)
もち ネクタリン	黒星病	1,000		収穫前日 まで	2回以内		3回以内 (休眠期は1回以内)	3回以内 (休眠期は1回以内)

※本内容は平成28年12月14日付けの登録内容に基づいています。

★上手な使い方★

- 浸透移行性のない予防効果主体の殺菌剤ですので、発病初期から使用してください。
- 散布ムラのないよう葉裏にも、ていねいに散布してください。
- 耐性菌対策のため、他剤とのローテーション(輪番)を使用を心掛けてください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期(小豆粒大)以降の散布は、果粉の溶脱、品種によっては果実に薬

害を生じるおそれがあるので、落花直後までに使用してください。

- 無袋栽培のネクタリンに使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがあるので、開花期以降の散布はさけてください。
- 各有効成分の総使用回数に注意して使用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は、2019年3月時点での知見に基づいて作成しています。

ラベルを守って正しく使用しましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう

石原は「食の安全」を大切にします



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <http://bj.ishkweb.co.jp>

取り扱い